

会報

NEWS
LETTER

春季号 51巻2号
令和7年4月 **No.2**

紙リサイクルにもっとたくさんの方が参加する土台づくり。



Topics

- 令和7年度 事業計画及び収支予算
- 全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024
審査結果・表彰式



公益財団法人 古紙再生促進センター

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

目次

P 2 理事会報告

令和7年度 事業計画及び収支予算

P 8 活動報告 本部

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024

P 21 センター日誌

センター日誌（1月～3月分）



令和7年度 事業計画

紙リサイクルが大転換期の渦中にある中、創立半世紀に際して打ち出した中長期課題、「サステナブルチャレンジ 2050」の諸項目について、具体的な対策や新たな取り組みを行う初年度となります。また、公益法人制度改正法施行の年を迎え、激変する外部環境に迅速に対応し、より効果的な民間の公益活動を展開することが求められます。

一方、様々な社会課題解決に向けた布石は、2030年までがラストチャンスであり、その影響が未来の可能性を左右すると言われる時代です。当センターは、紙リサイクルの環境・経済・社会側面の統合的向上や、全体最適を念頭に置いた事業展開を通じ、循環型社会形成に関する連携・協働のつなぎ手として資源循環の促進に向けて努力してまいります。

事業計画策定の基本スタンス

- 諸課題に対する、中期対応「Towards 2030 & Beyond」を策定、多様なステークホルダーとの連携や、パートナーシップづくりを通じた対策を講じてまいります。
- 4大事業 ①古紙品質安定対策 ②広報 ③調査研究 ④紙の資源リサイクル安定化対策を軸に、有機的な事業運営の在り方を追求します。
- 増加する「雑がみ」、品質低下する「雑誌」の問題について、入口（回収）から出口（利用）を俯瞰した諸対策にあたります。
- 自治体の可燃ごみ削減を通じた脱炭素化の流れの中で、現在ゴミ化、焼却されている古紙をいかに掘り起こし、用途を確保すべきなのか、自治体との連携強化を図ります。
- 紙サイクルにおける、GX（グリーントランスフォーメーション）、DX（デジタルトランスフォーメーション）について、そのモデル事業を念頭に置いた基礎調査に取り組みます。
- 公益法人制度改正法施行に対応した、財務情報開示方法や公益法人としてのガバナンスのあるべき姿について点検を行います。

1. 古紙品質安定対策事業

古紙品質の維持向上を図るため古紙品質調査及び情報共有を継続し、「個別品質対策」では必要に応じ、関連団体との連携を図ります。

(1) 古紙品質調査事業

全国の製紙メーカーの協力の下、古紙開梱組成調査を実施します。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

全国展開した古紙品質情報ネットワークを通じ、製紙工場での品質トラブル情報を他社工場、古紙問屋へ伝達、情報共有を図ります。

(3) 個別古紙品質対策

4大禁忌品である「昇華転写紙」、「感熱性発泡紙」、「ロウ引き段ボール」及び「臭いのついた紙」の混入防止等、禁忌品対策を実施します。また、一般住民への啓発など必要に応じ、地方自治体を含め関係団体との連携を図ります。

2. 広報事業

地方自治体職員や未来の紙リサイクル促進を見据えた小中学生を対象に啓発や情報発信に努め、対面型・オンライン型のハイブリッド事業により、従来カバーできなかった地域での事業拡大を進めます。

また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、継続して応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図ります。

(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

地方自治体と連携し、集団回収実施団体代表者や事業者等を対象に紙リサイクルに関する研修会を実施します。また、全国自治体の新人廃棄物担当者を対象にオンライン研修会を実施します。さらに、新たな取り組みとしてSDGs及び環境問題等に関心のある大学生や社会人等を対象とした研修会の実施を検討します。

2) 紙リサイクル出前授業

小学生を中心に、対面型及びオンライン型での出前授業を積極的に拡大します。また、非営利団体との連携による講師の確保など授業提供体制の拡充を図ります。

3) 地域広報活動

各地域にて開催される紙リサイクルイベントへの参加等、紙リサイクル啓発のための広報活動を実施します。

4) 紙リサイクルセミナー

毎年開催の紙リサイクルセミナーを、10月17日（金）に開催する予定です。ライブ配信、録画配信を実施、ステークホルダーに広く周知します。

5) 啓発資料等の配布

紙リサイクル啓発のためのリーフレット等を提供するとともに、「会報」及び「古紙ハンドブック 2025」並びに「自治体向け紙リサイクルハンドブック」を発行し、業界関係者・自治体等に配付します。

6) 紙リサイクルコンテスト

17 回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2025」を通じ、作文・ポスターの優秀作品選定・表彰、応募点数の増加等、内容の充実に努めます。また、小中学生に向けた雑がみの啓発のため、テーマに雑がみの追加を検討しています。

7) 未利用古紙掘り起こし・品質確保等の啓発 他

SDGs と紙リサイクルやセンター事業との関わりについて周知活動を継続します。また、地方自治体からの要望対応等、自治体との関係強化を継続します。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

紙リサイクル推進に貢献されてきた集団回収実施団体に対する顕彰を継続します。

2) グリーンマーク

古紙利用製品の認識向上及び利用拡大を図るため、グリーンマークの普及に努めます。

3. 調査研究事業

国内では古紙発生構造の変化や、各地方自治体のリサイクル変化等につき調査を行い、海外では製紙・古紙業界関係者との交流や調査事業の在り方を検討します。

(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

雑誌及び雑がみの流通実態の把握に努め、将来的な対応に向けたシナリオづくりを目指します。また、雑がみ回収促進に関する調査及び一般消費者を対象にしたオンラインでのリサイクル意識調査を実施します。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

先進的な取り組みを行っている地方自治体等を選定してヒアリングを行い、その結果を取りまとめ、情報提供を行います。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材及びマテリアルリサイクルを念頭に置いたパッケージのあり方について注視していきます。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

未利用古紙の実状や回収の課題を把握します。

5) 外部組織とのパートナーシップ

紙製容器、牛乳容器関連協議会への情報提供を行うとともに、中長期課題対応に向け

て、新たな観点からの紙リサイクルに関わるステークホルダーや組織、研究機関とのパートナーシップづくりを継続します。

(2) 海外市場調査

国際資源循環の変化に対応し、海外の製紙・古紙業界関係者との古紙をキーワードとしたオンライン交流を検討・実施します。

(3) 統計調査

国内外における古紙需給統計等を収集し取りまとめを行い公表します。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化が進み、世界的にも循環経済が進む中、国内外の中長期的な課題に向けて活動します。

(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

紙リサイクルシステム維持のため、余剰が生じた場合の対策を講じます。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

日本の紙リサイクル安定化のため、主要な古紙輸出国・輸入国の紙リサイクル及び古紙輸出入の状況を調査します。

2) リサイクル方法の調査研究

古紙の製紙原料以外の用途に関する調査を実施します。

3) 紙リサイクルの維持

古紙回収量の減少が続く中、可燃ごみに混入しているリサイクル可能な紙、中でも、特に多くを占めている雑がみの掘り起しが急務であることから、雑がみに特化した啓発活動を積極的に実施します。また、可燃ごみからの雑がみ掘り起こしに伴う温室効果ガス排出量調査を開始します。

労働力不足や物流問題が大きな課題となっている中、より持続的な紙リサイクル基盤を構築することが必要であることから、紙リサイクルにおけるDX推進モデルづくりを実施します。

5. その他の事業（地区委員会活動事業）

全国8地域の委員会において、各地域の独自性を考慮した研修会等の事業を実施します。

6. 公益目的事業以外のセンター運営活動

業務委員会、国際委員会、家庭紙委員会、各地区委員会においては、紙リサイクルシステム維持等に向けて、定期的な紙リサイクルに関する意見交換を通じて、円滑なセンター運営を心がけ、一層の情報発信に努めます。

収支予算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	33,000	1,000	32,000
基本財産受取利息	33,000	1,000	32,000
特定資産運用益	5,300,000	2,090,000	3,210,000
運用財産受取利息	5,300,000	2,090,000	3,210,000
受取会費	205,780,000	211,900,000	△ 6,120,000
賛助会員受取会費	205,780,000	211,900,000	△ 6,120,000
事業収益	1,000,000	1,000,000	0
紙の資源リサイクル安定化対策 事業収入	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	0	850,000	△ 850,000
受取寄付金	0	850,000	△ 850,000
雑収益	300,000	300,000	0
雑収入	300,000	300,000	0
経 常 収 益 計	212,413,000	216,141,000	△ 3,728,000
(2) 経常費用			
事 業 費	198,391,000	199,008,000	△ 617,000
役員報酬	20,727,000	20,727,000	0
給料手当	44,580,000	43,587,000	993,000
福利厚生費	9,994,000	9,857,000	137,000
役員賞与引当金繰入額	2,714,000	2,714,000	0
賞与引当金繰入額	3,750,000	3,469,000	281,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,396,000	2,396,000	0
退職給付費用	1,562,000	3,466,000	△ 1,904,000
古紙購入代金	1,000,000	1,000,000	0
会場費	5,104,000	5,966,000	△ 862,000
資料作成費	960,000	6,330,000	△ 5,370,000
啓発活動費	3,450,000	3,550,000	△ 100,000
広告料	220,000	0	220,000
システム費	4,696,000	3,602,000	1,094,000
委託費	34,179,000	28,154,000	6,025,000
会議費	575,000	90,000	485,000
旅費交通費	10,055,000	10,817,000	△ 762,000
通信運搬費	4,484,000	4,251,000	233,000
減価償却費	162,000	740,000	△ 578,000
消耗品費	2,827,000	3,088,000	△ 261,000
印刷製本費	7,295,000	5,305,000	1,990,000
新聞図書費	1,608,000	3,241,000	△ 1,633,000
水道光熱費	1,255,000	1,232,000	23,000
賃借料	25,459,000	25,454,000	5,000
諸会費	1,236,000	1,449,000	△ 213,000
諸謝金	270,000	680,000	△ 410,000
租税公課	4,000	4,000	0
支払手数料	19,000	19,000	0
雑費	20,000	30,000	△ 10,000
地区事業費	7,790,000	7,790,000	0

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
管 理 費	22,560,000	25,990,000	△ 3,430,000
役員報酬	1,802,000	1,802,000	0
給料手当	3,120,000	3,010,000	110,000
福利厚生費	913,000	887,000	26,000
役員賞与引当金繰入額	236,000	236,000	0
賞与引当金繰入額	451,000	426,000	25,000
役員退職慰労引当金繰入額	208,000	208,000	0
退職給付費用	290,000	79,000	211,000
会場費	0	0	0
広告料	198,000	180,000	18,000
システム費	338,000	242,000	96,000
委託費	390,000	390,000	0
会議費	5,743,000	9,637,000	△ 3,894,000
旅費交通費	73,000	145,000	△ 72,000
通信運搬費	144,000	134,000	10,000
減価償却費	14,000	63,000	△ 49,000
消耗品費	139,000	151,000	△ 12,000
印刷製本費	11,000	11,000	0
新聞図書費	23,000	23,000	0
水道光熱費	107,000	104,000	3,000
賃借料	2,129,000	2,129,000	0
諸会費	91,000	93,000	△ 2,000
諸謝金	5,086,000	5,086,000	0
租税公課	63,000	63,000	0
支払手数料	428,000	428,000	0
雑費	563,000	463,000	100,000
経 常 費 用 計	220,951,000	224,998,000	△ 4,047,000
当期経常増減額	△ 8,538,000	△ 8,857,000	319,000

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

経常外収益計	0	0	0
--------	---	---	---

(2) 経常外費用

経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,538,000	△ 8,857,000	319,000
一般正味財産期首残高	2,430,077,000	2,438,184,000	△ 8,107,000
一般正味財産期末残高	2,421,539,000	2,429,327,000	△ 7,788,000

Ⅱ 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

Ⅲ 正味財産期末残高	2,421,539,000	2,429,327,000	△ 7,788,000
-------------------	----------------------	----------------------	--------------------



全国小中学生 “紙リサイクル”コンテスト 2024 表彰式

「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト」は、全国の小中学生から紙リサイクルに関する活動やアイデアをテーマとした作文・ポスターを募集し、優秀な作品の作成者を表彰するもので、平成21年度から実施し、今回で16回目の開催となりました。全国各地の小中学生から多数の応募をいただき、応募点数は2,955点（応募校：121校）となりました。都内ホテルで表彰式を開催しましたのでご紹介します。



全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024 表彰式 全体記念写真

表彰式は文部科学大臣賞・金賞・特別金賞受賞者をお招きし、3月1日（土）にホテルメトロポリタンエドモントにて開催し、表彰状・副賞・記念楯を贈呈しました。各受賞者から（作文の方には）朗読、作品制作の意図、受賞を知った時の喜び等を述べていただきました。受賞者が作品に込めた思いや本コンテストを通じて得た学びについて、受賞者コメントの一部を紹介します。



長谷川代表理事 開会挨拶



賞状授与の様子

受賞者コメントの紹介

- ・私は地域の資源回収に参加し、そこで初めてリサイクルの分別を知り、紙をごみとして捨ててしまうのではなく、資源としてリサイクルする重要性を学びました。皆で楽しくリサイクル活動を行い、その輪が広がると良いな、という想いを込めて制作しました。
- ・受賞の連絡があった時、飛び上がって喜びました。紙リサイクルが世界中に広がり、繋がっていけば良いなと思います。
- ・少しずつでも雑がみのリサイクルを進めて、「持続性」のあるリサイクルを目指していきたいです。
- ・今回、作品を作成するにあたって雑がみについて調べていくうちに、少しずつ紙リサイクルに興味を持つようになりました。受賞をきっかけに、自分の身の回りからできることを進めていきたいです。



受賞者コメントの様子

表彰式では、審査委員長を務めて頂いていた全国小中学校環境教育研究会の關口会長から「紙リサイクルはもちろん、普段の学習や家族との協力、地域の連携など関わりを大切にしていこうという想いのある作品が多かった。皆さんの希望と力強さが大人にとっても嬉しいエネルギーとなっている。共に世界に紙のリサイクルを広げていくことを願っている。」という講評をいただきました。

当センターはこれからも紙リサイクルコンテストを通じて、次世代を担う小中学生に紙リサイクルの目的や重要性を周知し、持続可能な社会づくりに寄与して参ります。



關口会長 講評

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024 入賞者一覧

応募総数：2,955 点（応募校数：121 校）

【文部科学大臣賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文部門	東京都	昭和女子大学附属 昭和中学校	3	柳田 真緒	紙を捨てる概念がなくなる 日のために
ポスター部門	山形県	山形大学附属小学校	6	佐藤 綾芽	広がれ!!つながれ!! 紙のリサイクル

【金賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文	小学生部門	愛媛県 愛媛大学教育学部附属 小学校	1	若 狭 早	リサイクルのヒーロー
	中学生部門	愛知県 愛知教育大学附属 岡崎中学校	2	小山 るか	雑がみは立派な資源
ポスター	小学生部門	茨城県 龍ヶ崎市立八原小学校	4	川島 颯記	広げよう 紙リサイクルの輪
	中学生部門	愛知県 刈谷市立依佐美中学校	3	江坂 蒼依	捨てないで紙パック！

【特別金賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル	
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	神奈川県	アトリエ ENDO	6	浜田 涼菜	紙はリサイクルで よみガエル	ポスター
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	福岡県	明治学園小学校	5	能美 にな	新しいステージへ	作文
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	静岡県	浜松市立 三方原中学校	1	梶浦 美奈	紙リサイクルは続くよ どこまでも	ポスター

【銀賞】

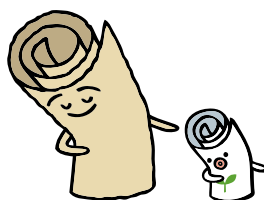
部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文	小学生部門	東京都 筑波大学附属小学校	6	藤本 怜央菜	紙パックの回収率を 上げる第一歩
	中学生部門	神奈川県 横浜市立中川西中学校	2	村 越 遼	「知ること」は「変わること」
ポスター	小学生部門	千葉県 流山市立 おおたかの森小学校	6	永井 秀弥	未来につながる紙リサイクル
	中学生部門	山口県 岩国市立岩国中学校	2	岡迫 ひより	古紙と運命の再開

【銅賞】

部 門	都道府県	学校名	学年	氏 名	タイトル
作文	東京都	東村山市立八坂小学校	3	三 春 沙 帆	生まれ変わる紙、私。 お母さん？
	茨城県	開智望小学校	4	小 磯 道 允	待ちわびた紙の卒業式
	兵庫県	神戸市立西灘小学校	4	伴 野 雅	小さな習慣から始める 紙リサイクル
	神奈川県	横浜市立中川西中学校	2	浦 星 奈	興味が湧いたら世界は変わる
	静岡県	静岡市立 清水飯田中学校	2	菊 池 未 夢	未来のために私に出来ること
	静岡県	静岡市立 清水飯田中学校	2	橋 本 茉 裕	地球を守る紙リサイクル
ポスター	福岡県	古賀市立古賀東小学校	2	大 嶋 陽 葵	かみが大へんしん
	愛知県	キッズ絵画アート教室	3	山 本 朝 陽	かみは、リサイクルボックスに いれてね！
	福岡県	北九州市立北方小学校	4	廣 田 琴 美	さあ、循環型社会へ、 出発進行！
	愛媛県	今治市立大三島中学校	1	木 村 佳 奏	リサイクル is 紙ング
	山口県	岩国市立岩国中学校	1	瀬戸川 優衣	笑顔のリサイクル
	山口県	岩国市立岩国中学校	1	森本 穂乃佳	僕達の居場所

【学校奨励賞受賞校】

部 門	都道府県	学校名	応募点数
小学校部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	257点
中学校部門	広島県	広島市立二葉中学校	390点



文部科学大臣賞 作文部門

紙を捨てる概念がなくなる日のために

昭和女子大学附属昭和中学校 3年 柳田 真緒

「たったこれだけの紙だから、面倒臭いし、燃えるゴミに捨ててしまえば良いでしょ。」私は何度もこの言葉を耳にしたことがある。この言葉は私が学校の環境団体で活動している時、よく周りから聞く言葉だ。

私は小学校三年生のときカナダへ旅行に行った。その時に初めて氷河を見て、地球温暖化による氷河融解の影響が身近に迫っている事を知り、環境問題に興味を持つようになった。現在、私は学校の環境団体で生徒や先生方の環境問題に対する意識を変えるために日々活動をしている。

今年の四月、私は学校で、各教室一つずつ設置してある紙資源専用のリサイクル箱が適切に使用されていない事を知った。また、大量のリサイクル可能な紙が燃えるゴミに捨てられ、リサイクルされていなかった。紙資源専用のリサイクル箱が適切に使用されなくなった背景に、引き継ぎが行われなかった事や主導する人が曖昧だった事が判明した。このままでは学校で紙資源がリサイクルされなくなってしまうと思った。もう一度、紙資源専用のリサイクル箱を、全校で使ってもらうための対策を立てるために考えた。

私は、常に活動を進められる委員会と協力する事で、私が卒業した後もこの活動を継続していけると考えた。委員会との協議の結果、「リサイクルアドバイザー」として、各学年に紙リサイクルを主導する係を設置し、紙リサイクル

を促進させる事に決まった。

現在、数ヶ月に渡って計画してきた計画の実行段階に入っている。今後も試行錯誤を続け、どんな事があっても揺るがない仕組みを構築させたい。そして今後、私の作った基盤を基に紙のリサイクルが何十年も先まで、我が校で続くことを願っている。

一人の生徒の小さな一歩が、一つの学校の多くの生徒の大きな一歩となる。その動きは他の学校にも広がり、より大きな一歩となる。そして、日本中でその動きが起きれば、世界に影響を与えると思う。

私達は気候変動に対して行動できる最後の世代と言われている。長期的な目標を実現するために、私自身が他人を巻き込み、勇気を持って一歩を踏み出したい。最初の一歩は、誰も気づかない程小さな一歩だと感じる。強い意志を持って行えば、他の人に影響を与え、前向きな変化をもたらす事ができると思う。今後、何回も色々な人や問題の壁に突き当たる事があるだろう。だが、どんな時でも挫けず、仲間と共に、環境活動を積極的に進めたい。そして、全校生徒が紙リサイクルや他の環境活動に積極的に参加するようになる事を願っている。やがてその動きが広まり、日本中で紙を「捨てる」という概念を「捨てる」事ができる日が来る事を願って、これからも活動が続けたい。

文部科学大臣賞 ポスター部門

広がれ!! つながれ!! 紙のリサイクル

山形大学附属小学校 6年 佐藤 綾芽



金賞 作文小学生部門

リサイクルのヒーロー

愛媛大学教育学部附属小学校 1年 若狭 早

カッコいいことばが、ぼくはすきだ。みんなのためにがんばる「ヒーロー」ということばは、とてもカッコいい。ヒーローが本に出てくるとぼくはわくわくする。そしていま、ぼくにとってカッコいいことばは「かみリサイクル」だ。つかったかみをあつめて、しげんにする。そのしげんをあたらしかみにして、またつかう。かみが生まれかわっていくしくみは、かんきょうにやさしい。だからぼくは、かみリサイクルが大すきだ。

ぼくのすんでいる町、まつやましは「人口五十まん人いじょうのとしの、一人一日あたりのごみのりょう」が九年れんぞくで一ばんすくなかったそうだ。ぼくはおかあさんに、「どうしてごみをへらせたのかな。」

ときいた。おかあさんは、
「まつやまにすむ人が、おうちでもかいしゃでも、しげんをすてずにリサイクルしたおかげだよ。ぶんべつ上手はヒーローだよ。」
といった。カッコいいことば、はっけん。しげんの「ぶんべつ上手」ということばをして、ぼくもなりたいたいとおもった。だからぼくは、おうちでどんなぶんべつをしているのかしらべることにした。

ぎゅうにゅうパックはあらってほす。しんぶんしはまとめてしぼる。だんボールはついているテープをぜんぶはがして、おりたたむ。ざつがみには、よごれたかみやフィルムなどが入ら

ないようにする。ざつがみのルールはしらないことがいっぱいあったけれど、おうちにある「はやわかりちょう」のおかげで、すぐにルールがわかるようになった。まつやましでは、しげんをぶんべつするための「はやわかりちょう」をつくっている。イラストがたくさんあって、小学一年生のぼくにもわかりやすい。おかあさんのかいしゃもこのイラストを大きくはって、ぶんべつ上手をふやしていたそうだ。

ぶんべつは、しげんになるものをなかまわけすること。ぼくはつかったかみのぶんべつ上手になって、かみリサイクルのわをひろげたいとおもう。ぶんべつ上手なりサイクルのヒーロー、ぼくのきめぜりふはこれにきまり。

「つかったかみは、リサイクル。」

金賞 作文中学生部門

雑がみは立派な資源

愛知教育大学附属岡崎中学校 2年 小山 るか

私の家では、雑がみをリサイクルできるようにきちんと分別している。それはおばあちゃんが雑がみを分別していたのを見て、我が家でも自然に分けることが当たり前になった。お母さんは、

「燃えるごみが減るから助かる。」

と言っていた。ここで私は思った。今までは当たり前で雑がみを分けていたけれど、どのようにリサイクルされるのか全然知らない。そこで雑がみについて調べることにした。

調べてみると、雑がみとして回収できるものと、回収できないものがあると書いてあった。例えば、臭いがついているものや食品が付着したもの、また防水加工やアルミコーティングされているものは、リサイクルができないため、回収することができない。

しかし、古紙再生促進センターのホームページには、「雑がみ回収では、リサイクルできない紙類と異物の混入が多い」と書かれていた。私は、雑がみに対する知識が広まっていないと感じた。

また、回収するにもルールがある。当然だが、バラバラに出してはいけない。ひもで縛るか、紙袋に入れてバラバラになるのを防がなければならない。確かに、お母さんも紙袋に入れて回収ボックスの中に入れていた。私が住んでいる豊橋市は、雑がみを入れる「雑がみ分別お試し袋」を配布しているらしい。しかし、数に限り

があり、なくなり次第終了で自分で取りに行かなければならない。もし雑がみを資源としてリサイクルしたいのならば、各家庭に配布したり、もしくは回収場所に雑がみを持ってきてくれた人に、次回も持ってきてもらえるように配布するなどしたら、もっと雑がみを持ってこようと思う人が増えるのではないだろうか。

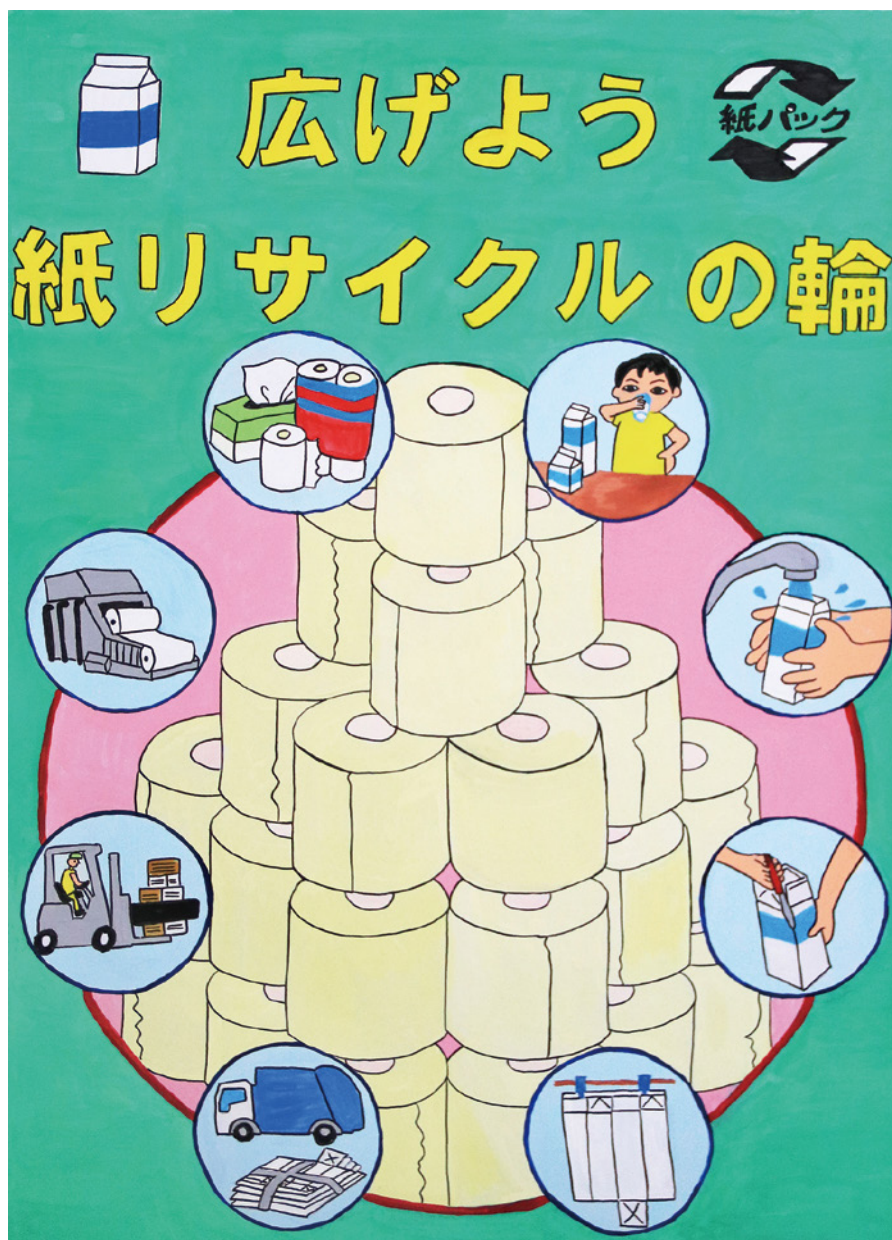
今回雑がみについて調べるにより、いくつかの問題点があることがわかった。その全てが雑がみに対する知識が全然足りていないということだ。ここで少し提案だが、燃えるごみなどを出すごみステーションに、分別や回収場所が書かれた看板や貼り紙を設置したり、回収ボックスが設置されている店舗の入り口に貼り紙を貼ったりして、色々な人の目にふれるようにしたら、もっと雑がみのリサイクルが増えると思う。せっかく回収ボックスが色々なところにあるのにもったいないと思う。自治体が回収する場所の他に、民間でも回収をしているのだから。特に民間の回収場所は、買い物のついでに寄ることも可能だ。

雑がみは立派な資源なのだから、新たに命をふきこんで、新しいものとして生まれ変わるべきだと思う。少しでも多くの人が、雑がみを捨てる前にリサイクルできるのではないかと、考えてくれることを願う。私はこれからも、雑がみのリサイクルを続けていく。

金賞 ポスター小学生部門

広げよう 紙リサイクルの輪

龍ヶ崎市立八原小学校 4年 川島 颯記



金賞 ポスター中学生部門

捨てないで紙パック！

刈谷市立依佐美中学校 3年 江坂 蒼依



全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞

紙はリサイクルでよみガエル

アトリエENDO 6年 浜田 涼菜



日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞

新しいステージへ

明治学園小学校 5年 能美 にな

五年間、紙リサイクルについて勉強してきた。古紙回収を進めるためには雑がみ回収がカギとなることも知った。自治体に提案したことが、市内の雑がみ回収啓発イベントのきっかけにもなった。意識と知識と実行力。この三つの重要性を感じた。

イベントから一年。雑がみという言葉すら知らなかった友人は、今もリサイクルを続けているという。一方、イベントには参加したものの、分別が面倒でリサイクルをやめてしまった人もいた。イベントだけでは、持続性という面で不十分であることがわかった。

確かに他の古紙と違い、雑がみという区分はわかりにくい。リサイクルできる古紙の中で段ボール等『ではない』もの。さらに禁忌品『ではない』もの。頭の中の古紙チェックリストを毎回確認する必要がある。この『難しい分別』こそが雑がみ回収の持続性を阻む一因かもしれない。

私は改めて雑がみについて調べてみた。古紙の排出区分の中に雑がみが入ったのは主に二十年以降。つまり、ほとんどの大人たちが子どもの頃、雑がみという考え方自体がなかったのだ。母も私が古紙の勉強を始めるまで雑がみを知らなかったらしい。実際、市民の六十パーセント以上が雑がみという言葉を知らない自治体もあった。つまりどんなに私達子どもが雑がみのことを知っていても、社会という大きな範囲でみると、残念ながら、新聞紙や段ボールと比べて、雑がみの存在はまだまだ浸透していない

のだ。それならば、雑がみが『有名』になれば、知名度とともに回収率も上がってくるのではないかな。

一年前、北九州市で二日間行った雑がみ回収啓発イベントは大盛況だった。雑がみという存在を知った市民が集めた量は、これからの明るい未来を感じさせた。やはり雑がみという考え方が広がることが、回収をすすめるカギなのだ。雑がみを正しく分別できる人が増えれば、それはやがて社会の『常識』となる。イベントだけでは終わらない、持続性のあるリサイクルも定着してくるに違いない。

私は今、大学での講演の準備を行っている。大人の講演者に混ざって、自分の考えを壇上で話す機会を与えられたのだ。私が話すテーマに選んだのは、もちろん『雑がみ』。持続可能な雑がみリサイクルを進めていくために、まずは大勢の聴衆に雑がみの存在を知ってもらおう。分別方法を知ってもらおう。自分だけではなく、周りの人に輪を広げていくこと。私の新たな挑戦だ。

これからの雑がみ、ひいては古紙のリサイクルに必要なキーワードは、意識と知識と実行力。それに『持続性』だ。実現のためにはまずは皆で知ること、知らせること。それができたとき、日本の古紙リサイクルはまた新しいステージへと上がっているはずだ。

段ボールリサイクル協議会 会長賞

紙リサイクルは続くよどこまでも

浜松市立三方原中学校 1年 梶浦 美奈



令和6年度 センター日誌 1月～3月分

月	日	会議名	主要議題
1月	16日 (木)	近畿地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② その他 ○今後の近畿地区委員会等の開催予定
	17日 (金)	北海道地区委員会	① 古紙共販集計表について ② 古紙需給動向について ③ 古紙消費実績と計画対比表について ④ 北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑤ 古紙の消費量と在庫量の推移 ⑥ 情報交換 ⑦ その他 ○今後の北海道地区委員会等の開催予定
	23日 (木)	1月度常任理事会	① 通常理事会の開催日時及び議案について ② 「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の応募結果について ○表彰式：令和7年3月1日(土)13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント ③ “紙リサイクル”コンテスト2024 学校特別賞・学校奨励賞について ④ 国債の購入実績について ⑤ 令和6年度第7回業務委員会議事次第について ⑥ その他 ○今後のスケジュールについて
		第7回業務委員会 (Web会議システム併用)	① 各地区の古紙の需給・市況動向について ② 2025年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③ 「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024」の応募結果について ○表彰式：令和7年3月1日(土)13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント ④ “紙リサイクル”コンテスト2024 学校特別賞・学校奨励賞について ⑤ その他 ○今後の業務委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
1月	28日 (火)	静岡地区委員会	① 古紙の需給・市況動向、品質状況について 古紙の市況動向・品質状況報告 ② 事務局からの連絡事項 ○「ものづくり力交流フェア2025」への出展について ○雑がみ分別・回収啓発促進活動 ～(仮)雑ガミ様を探せ!～について ○紙リサイクル出前授業について ○集団回収感謝状贈呈実施要領の改定について ○2025年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ○「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」の応募結果 ○令和7年度事業計画(案)について ③ その他 ○今後の静岡地区委員会の開催予定
	30日 (木)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙需給動向(古紙問屋) ② 古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③ 古紙品質トラブル報告 ④ 2025年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ⑤ その他 ○「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」 ・応募結果：2,955点(前年3,261点) ・一次審査会(1月10日(金))、最終審査会(1月31日(金))を実施し受賞作品決定 ・表彰式：(予定)3月1日(土)13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント ○紙リサイクル研修会(予定) 2月8日(土)千葉県旭市 2月12日(水)埼玉県志木市 ○紙リサイクル出前授業(予定) 3月25日(火)港区立飯倉保育園 ○今後の関東地区委員会の開催予定

理事会報告

活動報告

センター日誌

月	日	会議名	主要議題
2月	13日 (木)	中部地区委員会 東海分会	① 古紙の需給・市況動向について ② 令和7年度予算編成について ③ 第7回業務委員会報告 ④ Risa3月号(出前授業取材報告) ⑤ その他 ○今後の中部地区委員会東海分会の開催予定
	14日 (金)	東北地区委員会	① センターとして取り組む中期課題と対策及び今後の「雑がみ」対策の具体案について ② 関東地区委員会報告 ③ 古紙の需給・市況動向について ④ センター事業について ○令和6年度地区活動報告 ○令和7年度地区活動計画(案) ○令和7年度地区活動予算(案) ⑤ その他 ○今後の東北地区委員会の開催予定
	18日 (火)	中部地区委員会 北陸分会	① 古紙の需給・市況動向について ② 令和7年度予算編成について ③ 第7回業務委員会報告 ④ その他 ○今後の中部地区委員会北陸分会の開催予定
	19日 (水)	財務委員会	第1号議案 令和7年度事業計画(案)について 第2号議案 令和7年度収支予算(案)について 第3号議案 国債購入ルールの変更について
		近畿地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② その他 ○今後の近畿地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
2月	26日 (水)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙需給動向(古紙問屋) ② 古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③ 古紙品質トラブル報告 ④ 集団回収感謝状贈呈実施要領の改定について ⑤ Towards2030&Beyond(中期課題対策)今後の「雑がみ」対策の具体的立案に向けて ⑥ その他 ○「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」表彰式 ・日時：3月1日(土)13時30分～14時30分 ・一次審査会(1月10日(金))、最終審査会(1月31日(金))を実施し受賞作品決定 ・表彰式：(予定)3月1日(土)13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント ○紙リサイクル研修会(予定) 2月8日(土)千葉県旭市 2月12日(水)埼玉県志木市 ○紙リサイクル出前授業(予定) 3月25日(火)港区立飯倉保育園 ○今後の関東地区委員会の開催予定
	28日 (金)	2月度 常任 理事会	① 令和7年度事業計画(案)について ② 令和7年度収支予算(案)について ③ 令和7年度の収支予算における賛助会費の公益目的事業への充当について(案) ④ 「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」の審査結果について ○表彰式：令和7年3月1日(土)13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント ⑤ 国債購入基準の変更及び資産管理運用要領の改正について ⑥ 職務執行状況について(P) ⑦ 令和6年度第8回業務委員会議事次第について ⑧ その他 ○今後のスケジュールについて
		第8回 業務 委員会 (Web会議システム併用)	① 各地区の古紙の需給・市況動向について ② 「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」の審査結果について ○表彰式：令和7年3月1日(土)13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント ③ 令和7年度予算作成状況について ④ その他 ○今後の業務委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
3月	1日 (土)	全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2024表彰式	①表彰状・副賞・記念楯授与 ②受賞者インタビュー ③記念撮影
	7日 (金)	九州地区委員会	①古紙の需給・市況動向及び品質について ②令和6年度北九州市小学生対象紙リサイクルバスツアーについて ③出前授業説明会について ④「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」の結果 ⑤地区委員会委員の改選について ⑥集団回収実施団体の感謝状贈呈について ⑦令和7年度九州地区委員会活動計画(案)について ⑧その他 ○2024年下期古紙開梱調査
	11日 (火)	第4回 国際委員会	①古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ○古紙発生の現状及び見通し報告 ○国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ○古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ②古紙輸出入統計 ③国際委員会の委嘱状について ④2025年度国際委員会日程(案)及び海外製紙・古紙業界関係者との意見交換会について ⑤2025年度の古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換の発表順番について ⑥2025年度の古紙輸出に伴う賛助会費について ⑦Towards2030&Beyond(中期課題対策)今後の「雑がみ」対策の具体的立案に向けて ⑧次回のスケジュール
	14日 (金)	中・四国地区委員会	①メーカーの生産状況・古紙入荷状況 ②古紙の需給・市況動向について ③古紙品質状況について ④その他 ○今後の中・四国地区委員会の開催予定

月	日	会議名	主要議題
3月	17日 (月)	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②その他 ○今後の近畿地区委員会等の開催予定
	18日 (火)	第22回 家庭紙委員会 (Web会議システム併用)	①古紙入荷・消費・在庫(2024年11月～12月)古紙地域別入荷(同上) ②古紙需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 メーカー消費の現状及び見通し ③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④その他 ○Towards2030&Beyond(中期課題対策)今後の「雑がみ」対策の具体的立案に向けて ○次回以降の家庭紙委員会の日程(案)について
	24日 (月)	3月度 常任理事会	①通常理事会の事前打ち合わせ ○議事次第 ○出欠表 ○職務執行状況報告について(報告) ②最近のトピックスについて ○古紙の回収量、消費量、輸入量、輸出量の推移 ○古紙の回収率、利用率の推移 ○輸出入に伴う梱包材量推定(2024年) ③令和6年度第9回業務委員会議事次第について ④その他 ○今後のスケジュールについて
		通常理事会 (Web会議システム併用)	第1号議案 令和7年度事業計画書及び収支予算書(案)について 第2号議案 令和7年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について 報告事項 職務執行状況について
		第9回 業務委員会 (Web会議システム併用)	①通常理事会報告について ②各地区の古紙の需給・市況動向について ③「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」受賞作品集について ④その他 ○今後の業務委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
3月	25日 (火)	静岡地区委員会	① 古紙の需給・市況動向、品質状況について 古紙の市況動向・品質状況報告 ② 事務局からの連絡事項 ○任期満了に伴う次期(令和7年度・令和8年度)静岡地区委員会について ○令和7年度の紙リサイクル出前授業について ○雑がみ分別・回収啓発促進活動について ○「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024」の審査結果について ○第1回地区事業活性化行事 情報意見交換会の開催について ○大型連休期間中の古紙受け入れ計画の調査について ③ その他 ○今後の静岡地区委員会の開催予定
	26日 (水)	北海道地区委員会	① 古紙共販集計表について ② 古紙需給動向について ③ 古紙消費実績と計画対比表について ④ 令和7年1月～令和7年6月古紙消費計画について ⑤ 北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑥ 古紙の消費量と在庫量の推移 ⑦ 情報交換 ⑧ その他 ○令和7年度集団回収感謝状贈呈について ○令和7年度広報宣伝事業について ○今後の北海道地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
3月	27日 (木)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙需給動向(古紙問屋) ② 古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③ 古紙品質トラブル報告 ④ 欧米2024年紙・板紙生産量について ⑤ その他 ○企業の労働環境改善を図るための補助金・助成金セミナー開催について ○紙リサイクル出前授業(予定) 6月 5日(木) 足立区立鹿浜五色桜小学校 (参加児童50人) 6月10日(火) 足立区立北三谷小学校 (参加児童37人) 6月13日(金) 足立区立東湊江小学校 (参加児童78人) 6月19日(木) 足立区立北寿常東小学校 (参加児童72人) 6月24日(火) 足立区立大谷田小学校 (参加児童54人) 7月16日(水) 足立区立桜花小学校 (参加児童50人) 7月26日(土) 板橋区 7月30日(水) 世田谷区リサイクル千歳台 8月 5日(火) 世田谷区松原まちづくりセンター 10月23日(木) 足立区立北寿桜小学校 (参加児童87人) 10月29日(水) 足立区立東伊興小学校 (参加児童80人) 11月20日(木) 足立区立弥生小学校 (参加児童71人) ○今後の関東地区委員会の開催予定

編集後記

本号では、16 回目の開催となる全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2024 の審査結果及び表彰式の様子を掲載しました。今年度の応募点数は 2,955 点（応募校数：121 校）となりました。本号では受賞作品の内、文部科学大臣賞 2 作品・金賞 4 作品・特別金賞 3 作品を掲載しています。どの作品も普段の学習や家族・地域と連携しながら紙リサイクルの輪を広げていきたいという子どもたちの希望にあふれたメッセージが込められていますのでご覧ください。あわせて、都内ホテルで開催した表彰式の様子も掲載しています。記念写真や受賞者へのインタビュー内容等も掲載していますのでご覧ください。

当センターでは、今後も紙リサイクルコンテストを通じて、次世代を担う小中学生に紙リサイクルについての周知を進めて参ります。来年度も皆様にお力添え頂けますようお願い申し上げます。（武田）

地区委員会事務局

地区	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
北海道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル5階	011 (271) 1551	011 (232) 0017
東北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事（株）北日本支社内	022 (225) 3359	022 (261) 4522
関東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03 (3537) 6822	03 (3537) 6823
静岡	417-0801	富士市大淵2590番1号 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270	0545 (35) 5026
中部	450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052 (582) 1836	052 (581) 6943
近畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315	06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙（株）内	0896 (23) 9124	0896 (23) 4411
九州	866-0896	八代市日置町320-2 1号棟101号室	0965(37)8217	0965(37)8218

会報

news
LETTER

第51巻 第2号
2025年4月1日

発行所

公益財団法人古紙再生促進センター

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル 4F

電話 03 (3537) 6822 (代表)

ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 川上 正智

印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

古紙再生促進センターは紙リサイクルが担うSDGsの6つの目標を設定しました



公益財団法人 古紙再生促進センター

